

1 単元名 Presentation2 修学旅行

2 目標

- 間違ふことを恐れず、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度(言語活動への取組))
- 既習事項を活用して、自分の修学旅行について5文以上の英文で正しく書くことができる。
(外国語表現の能力(正確な筆記))
- 友達の発表を聞いて、全体の概要や内容の要点を適切に聞き取ることができる。
(外国語理解の能力(適切な聞き取り))

3 指導にあたって

(1)単元観

本単元は佳奈の修学旅行記を通して、自分の修学旅行について書き、友達に発表するという内容である。言語材料としては、受動態、現在完了形が扱われている。自分の修学旅行についての感想、意見やその理由を文章にまとめ、友達と語り合う活動を通して4技能をバランス良く育成できる単元である。

(2)生徒の実態

受動態と現在完了形の空所補充問題と既習事項を用いてまとまりのある文章を書くことについての実態調査(平成28年6月24日実施、第3学年5組36人)を実施した。その結果、知識を身に付けている生徒が33人、知識を活用して正しく書くことのできる生徒が17人であった。知識は身に付けているが実際に運用することができない生徒がいることから、自分の考えや気持ちなどを目的に応じて英語で正しく書く力を育てることが必要であると考えた。

(3)指導観

本単元では、自分の修学旅行の体験がもとになっており生徒にとって身近な題材になるため、より興味を持って取り組めると考える。まとまりのある文章を書くことを苦手とする生徒でも取り組みやすいように、文章を書く前にブレインストーミングやマッピングを行うことでまとまりのある文章を書けるようにしたい。実態調査の結果、空所補充などの問題では知識を身に付けてはいるものの、英作文などで実際に運用することができない生徒がいることが分かった。そこで、自分の修学旅行記を書く活動を通して、既習事項を活用して正しく英文を書く力を育てたい。生徒が発表をする際には、十分に練習をしてから臨ませたい。

4 単元の学習計画(3時間取り扱い)

次	時	主な学習活動	関	表	理	言	評価規準(評価方法)
1	① 本時	・モデル文を読んで、内容を理解する。 ・ブレインストーミングをしながら、自分の体験をもとに原稿を書く。		◎	○	本単元では評価しない	・モデル文を理解し、語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。 (ワークシート、後日ペーパーテスト)
	2	・添削された原稿をグループで推こうする。 ・個人で発表練習する。		◎	○		・場面や状況にふさわしい表現を用いて書くことができる。 (観察)
	3	・グループで発表を行う。 ・友達の発表を聞いて質問し合ったりする。 ・グループの代表者がクラス全体で発表を行う。	○	○	◎		・相づちをうったりメモをとったりするなど、相手の話に関心をもって聞くことができる。 ・聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。 ・友達の発表に対して、問答したり意見を述べ合ったりしようとしている。 (観察)

5 本時の指導

(1) 目標

既習事項を活用して、自分の修学旅行について5文以上の英文で正しく書くことができる。

(外国語表現の能力(正確な筆記))

(2) 準備・資料

タイマー フラッシュカード ピクチャーカード ワークシート 英和辞書 和英辞書

(3) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点と評価 (◎は評価, ○は主体的な学びの視点)				
<p>1 あいさつをする。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分の修学旅行について語り合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受動態と現在完了形を使うこと。 ・5文以上で書くこと。 ・自分の感想を述べること。 </div> <p>3 モデル文を理解する。</p> <p>① 佳奈の修学旅行記を聞いて、内容を理解する。</p> <p>② リーディングポイントをペアで確認する。</p> <p>4 原稿を作成する。</p> <p>① グループで思いつく形容詞を挙げる。 (happy, glad, sad など)</p> <p>② 形容詞のグルーピングをする。</p> <p>③ 自分の修学旅行に合う形容詞を選び、その理由を述べながら単語でブレインストーミングをする。</p> <p>④ 挙げた単語をもとに原稿を作成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Hello, my name is ().</p> <p>I'm going to talk about my school trip. I chose () because</p> <p>.....</p> </div> <p>5 自己評価(振り返り)をする。</p>	<p>・元氣よくあいさつをし、英語学習の雰囲気を作る。</p> <p>・学習課題を具体的に示し、生徒に学習に対する高い目的意識を持たせる。</p> <p>・実際に自分が体験したことなどについて自分の考えや気持ちを書くことが目標であることを伝え、理由を併せて書けるようにしたい。</p> <p>・モデル文を聞く前に、ピクチャーカードを見せて佳奈がどこへ行ったか、何をしたかを英語でたずねることで、佳奈の修学旅行記の理解を支援したい。</p> <p>・リーディングポイントを与え、ポイントに焦点を当てて内容を理解できるようにする。</p> <p>・教科書の真似をするのではなく、自分の気持ちや考えを表現することができるよう、自分の原稿を書く前にさまざまな形容詞に触れさせたい。</p> <p>○既習の形容詞に限らず、辞書を活用してできるだけ多くの形容詞を挙げることで、あとで原稿を書く際に自分の修学旅行にふさわしい形容詞を選べるようにする。</p> <p>・形容詞の意味をより理解させるために、グループになり、プラスの感情を表す形容詞とマイナスを表す形容詞にグルーピングをする。</p> <p>・自分がなぜその形容詞を選んだのかを because や so などの接続詞を用いて理由を述べながら説明するよう助言をする。</p> <p>・考えがまとまらない生徒は、グループの友達に聞いて、友達の意見を参考にするように伝える。</p> <p>◎既習事項を活用して、自分の修学旅行について5文以上の英文で正しく書くことができたか。 (外国語表現の能力)〈ワークシート、後日ペーパーテスト〉</p> <table border="1" data-bbox="624 1682 1394 1868" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">十分満足 (A)</th> <th style="width: 50%;">おおむね満足 (B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既習事項を活用して、自分の修学旅行について5文以上の英文で正しく書くことができる。</td> <td>既習事項を活用して、自分の修学旅行についておおむね正しく書くことができる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・Bに達している生徒には正しく英文を書けるような支援をし、Bに達していない生徒には、ヒント集を活用したり、モデル文の表現の活用を促したりする。</p> <p>○本時の学びについて、各自が自分の言葉で分かったことや気づいたこと、自分自身の達成度や課題について記入させ、自己評価(振り返り)をさせる。</p>	十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	既習事項を活用して、自分の修学旅行について5文以上の英文で正しく書くことができる。	既習事項を活用して、自分の修学旅行についておおむね正しく書くことができる。
十分満足 (A)	おおむね満足 (B)				
既習事項を活用して、自分の修学旅行について5文以上の英文で正しく書くことができる。	既習事項を活用して、自分の修学旅行についておおむね正しく書くことができる。				